

瀬戸内市議会議長 原野 健一 様

報告者（班長） 布野 浩子

議会報告会の要望等記録票

地域名	牛窓 ・ 邑久 ・ 長船	担当班	邑久班
実施年月日	平成30年 2 月 4 日	開始時刻	19時00分
参加人数	13人	終了時刻	20時30分
No 1	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	TEL		
内容	<p>新設された市営バスの11月ひと月の利用者が一便あたり0.8人ということから費用対効果と利便性を考えて、他の市町村で実施されているコミュニティーバスや、乗り合いタクシー等を視野に入れた柔軟な考え方で広域性をもたすべきではないか。</p> <p>また、アンケートを取る際には、全市一律に実施するより市営バスの運行地域で公共交通を必要としている人や、現に利用している人の声を拾い上げることの方が有効なアイデアが拾い上げられるのではないか。</p>		
	送付先	市 長 ・ （ ） 委員会	
No 2	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	TEL		
内容	<p>公共交通を考える場合に、ひと月0.8人の利用者の現状を考慮すると、例えば介護施設の送迎車両等に費用を払って運行する方が、税金の有効活用となるのではないか。</p>		
	送付先	市 長 ・ （ ） 委員会	
No 3	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	TEL		
内容	<p>市営バスの運行を邑久町の西の地域にも広げてほしい。</p>		
	送付先	市 長 ・ （ ） 委員会	

地域名	牛窓 ・ 邑久 ・ 長船	担当班	邑久班
実施年月日	平成 30 年 2 月 4 日	開始時刻	19時 00 分
参加人数	13人	終了時刻	20時 30 分
No	住所	瀬戸内市■■■■■	
4	氏名	■■■■■	
	TEL		
内容	市営バスの一便あたり0.8人という利用状況を改善するためには、長船で運行していたバスの方式を参考にして改善してはどうか。		
送付先	市長 ・ ( ) 委員会		
No	住所	瀬戸内市■■■■■	
5	氏名	■■■■■	
	TEL		
内容	市営バスの利用者数をふやすためには、無料での体験乗車等の方策としてはどうか。これからの公共交通網を考える際には10年20年後を視野に入れる必要があり、そのためにも今回の市営バスを成功裏に導く必要がある。		
送付先	市長 ・ ( ) 委員会		
No	住所	瀬戸内市■■■■■	
6	氏名	■■■■■	
	TEL		
内容	鳥獣対策には、備前市とも連携して対処する必要があるので考えて欲しい。		
送付先	市長 ・ ( ) 委員会		
No	住所	瀬戸内市■■■■■	
7	氏名	■■■■■	
	TEL		
内容	市の広報について。『広報せとうち』は『議会だより』比べて読みづらい。市のHPは最悪と言えるのでは。今回の議会報告会の内容はほとんどHP上で読めるはずだが、その情報にたどり着くのが非常に困難な状況を改善して欲しい。また、長船地区のように掲示板を有効に活用することで経費削減を図れば。		
送付先	市長 ・ ( ) 委員会		

地域名	牛窓 ・ 邑久 ・ 長船	担当班	邑久班
実施年月日	平成 30 年 2 月 4 日	開始時刻	19時 00 分
参加人数	13人	終了時刻	20時 30 分
No 8	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	T E L		
内容	市と自治会の関係について。自治会の役員が行政委員や土木委員として報酬を受けている現状は、自治会の独立性及び自治法の観点からも理解できない。		
送付先	市 長 ・ ( ) 委員会		
No 9	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	T E L		
内容	市の財政計画は少子高齢化による人口推移を視野に入れ、厳しいデーターであってもそれを反映した財政計画、事業計画等を市民に示して欲しい。		
送付先	市 長 ・ ( ) 委員会		
No 10	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	T E L		
内容	通学路沿いに雑草が伸びているがその刈り取りをすべきでないのか。		
送付先	市 長 ・ ( ) 委員会		
No 11	住 所	瀬戸内市■■■■■	
	氏 名	■■■■■	
	T E L		
内容	市民病院での診療後の会計処理に大変時間がかかるのはなぜか。スタッフは大勢いるように見受けられるのだが、システムに問題があるのではないか。		
送付先	市 長 ・ ( ) 委員会		

地域名	牛窓 ・ 邑久 ・ 長船	担当班	邑久班
実施年月日	平成 30 年 2 月 4 日	開始時刻	19時 00 分
参加人数	13人	終了時刻	20時 30 分
No 12	住 所	瀬戸内市■■■■	
	氏 名	■■■■	
	T E L		
内 容	移住促進等の市の活性化のために、市民各自がボランティアに自分の能力を発揮して役割を担うことができる仕組みづくりをすべきでは。		
送付先	市 長 ・ ( ) 委員会		